

# 安全安心な教育環境の確保のため、 どんなことに取り組んでいるの？

## 宮城県政 ～復興へ頑張ろう！～

宮城県は、東日本大震災の経験を踏まえ、特に、防災教育を充実するとともに、地域との連携による学校の防災体制を強化しています。また、被災した児童生徒などの心のケアや就学支援も積極的に実施しています。



### 防災教育のさらなる充実

昨年4月、全国に先駆けて、県内全ての公立学校に防災教育の中心的な役割を担う教員として、「防災主任」を配置しました。防災主任は、各学校において「みやぎ学校安全基本指針（平成24年10月策定）」に基づき、学校防災計画や防災マニュアルの改訂、防災訓練の実施、校内研修の企画実施などに取り組んでいます。

地域の拠点となる学校には「防災担当主幹教諭」を配置し、地域内の関係機関と連携して、学校、家庭、地域が一体となった防災教育の推進に取り組んでいます。

### 心のケアにきめ細かく対応

児童生徒などの心のケアにきめ細かく対応するため、市町村教育委員会にスクールカウンセラーを配置し、各小学校の相談に対応できるようにしているほか、各中学校にも配置しています。さらに、県内各地域の教育事務所などに専門カウンセラーを配置し、専門的な立場から児童生徒や保護者の相談に対応しています。

### さまざまな就学支援を実施

東日本大震災により就学が困難となった小・中学校の児童生徒の保護者などに対し、学用品費、通学費、修学旅行費、給食費などの支援を行う就学支援を実施しています。

震災で親を亡くした子どもたちが、安定した学びの機会の確保と希望する進路選択を実現できるよう、奨学金を給付し、長期的・継続的な支援をしていきます。

## 宮城県は震災復興に全力で取り組んでいます

### 交流を通じて地域で見守る

#### 子どもも大人もみんなで遊び隊(山元町)

山元町の住民グループ「子どもも大人もみんなで遊び隊」は子どもと町民、学校関係者が交流する催しを開いている。隊長の吉田和子さんは「子どものためと構えたと負担になり、続かない。一緒に楽しむ中で、地域で子どもを育てる意識が広がれば」と期待する。

遊び隊は2002年に発足した。実行委員は小学4年生から70代までのさまざまな経歴の約15人。各自がやりたいことを随時提案し、実施するゆるやかな活動だ。

恒例の夏のイベントは、中央公民館などを会場に、高齢者の竹細工講座や、教員の科学実験、バンド演奏など、町民が約30ブースを出す。腕相撲や「ホッキ貝投げ世界大会」などは「大人の方が夢中になる」（吉田さん）といい、子どもがいない世帯や地元を離れた若者なども含めて、例年800人以上が参加する。

山元町は大震災の津波で甚大な被害を受けた。震災後の催しは、町外に避難した住民が集う場でもある。鎮魂祭や町内を黄色いハンカチで彩る事業など、復興への心のよりどころとなる企画にも取り組む。

吉田さんは「大人が地元で楽しむ姿は、子どもたちの笑顔や郷土愛に結びつく。地域全体で子どもたちを見守ってきたい」と話している。



全国から寄せられた黄色いハンカチを手にする吉田さん

企画/県広報課 ◎お問い合わせ/県教育庁総務課 022(211)3614

### 防災教育への取り組み

「みやぎ学校安全基本指針」を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じて、「自らの身を守り乗り切る力」や「地域の安全に貢献する心」などを身に付けさせる防災教育に全力で取り組んでいます。

### 児童生徒の心のケア

震災により生活環境が大きく変化するなどした児童生徒の悩みを聞き、適切なアドバイスを行うとともに、児童生徒の心の状況などについて保護者からの相談を受けたり、教職員に対し助言を行ったりするなど、きめ細かな相談体制を整えています。

### 経済的支援の充実

- 被災児童生徒就学支援事業/震災により経済的理由から就学が困難となった児童生徒を対象に学用品費などの支援を行っています。お問い合わせ/県義務教育課022(211)3643
- 高等学校等育英奨学資金貸付事業/震災により経済的に修学が困難となった高等学校等の生徒に奨学資金の貸し付けを行っています。お問い合わせ/県高校教育課022(211)3716
- 東日本大震災みやぎ子ども育英基金事業/震災により遺児・孤児となった児童生徒等に奨学金を給付しています。お問い合わせ/県教育庁総務課022(211)3611

### 協働教育の推進

家庭・地域・学校が協働して、①学校教育支援サポートチームの設置や親の学び塾などの「家庭教育支援」②自然体験活動などの「地域活動支援」③登下校の安全指導などの「学校教育支援」を実施し、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進しています。

### 復興を支える人づくり

震災後、復興を推進する自治官や医療関係者、消防関係者などの活動を目的として、「自分も人の役に立ちたい」という強い思いをもつ児童生徒が増えました。その思いを大切に、将来の社会人としてよりよい生き方を育む「志教育」により、郷土の復興・再建に力を発揮できる人づくりを推進しています。

### 防災意識高め絆も強める

#### 女川町女川一小的防災主任 中澤 健一さん

昨年4月、教諭として勤務する女川一小的の防災主任に就いた。これまでも安全主任を務め、子どもの安全を守ることを常に心掛けてきた。「災害への備えの分野を特に意識しながら、安全の大切さを児童たちに呼び掛けていきたい」と話す。

女川一小的は東日本大震災の地震で校舎が大きく被災。利用できなくなったため、いったん女川一中に引っ越した。一昨年の夏休みに入り、スペースの空いた女川二小的の校舎4階に移転。出島にあった女川四小も二小を利用して、3校の児童が同じ校舎で別々に授業を受けている。

昨年6月12日の避難訓練は3校合同で実施し、校舎より高い位置にある総合体育館まで一緒に逃げた。3校の防災主任で訓練の課題を検討し、6月27日には休み時間に地震が起きたことを想定し、再び避難訓練を実施した。

「まだ余震もあるので訓練は大切です。訓練することによって、子どもたちに具体的な指示ができます」

被害の大きかった女川町内の復興はなかなか進まないが、町の状況は日々変化する。変化に応じて学校の防災マニュアルを絶えず見直している。

「震災の被害を忘れず、備えを怠らないことが大切。月ごとに防災の目標を設定し、意識を高め、絆を強める工夫をしていきます」



「他校の防災主任との情報交換も役に立ちます」と話す中澤さん

## 県からのお知らせ

### 絆を深めるレクリエーション入門II

打ち合わせや研修などの場が和むような雰囲気を作るアイスブレイキングの手法をゲームを通して身に付けます(参加無料)。

- 対象・定員/一般成人・30人程度(応募多数の場合抽選)
- 日時/1月19日(土)午前9時～正午
- 場所/大塩市民センター体育館
- 申し込み/1月12日(土)消印有効までに、往復はがきに参加者の氏名(ふりがな)、性別、年齢、住所、電話番号を記入し、下記へ。松島自然の家 ☎0225(83)4815 〒981-0505 東松島市大塩山崎5-1

### 東北歴史博物館「催しガイド」

●内容/「『民話について考えよう』(石井正己氏(東京学芸大学教授)による講演)」、民話をかたりつくり、映画「うたうひと」の上映など

- ②オープン講座(東北歴史博物館職員による研究成果発表)
- 日時/①1月12日(土)午後0時40分～4時40分 ②1月6日(日)～2月10日(日)の毎週日曜午後1時30分～3時
- 場所/東北歴史博物館3階講堂
- 費用・申し込み/無料・不要
- ◎東北歴史博物館 ☎022(368)0106 http://www.thm.pref.miyagi.jp/

### 放射線・放射能と食品についての講演会・相談会

●内容/講演会「低線量被ばくの身体的影響について」および「食品と放射能 Q&A」、宮城県放射線技術協会による個別相談会

- 定員/講演会:なし、相談会:各会場10人程度(先着順)
- 期日・場所/①1月10日(木)、気仙沼市民会館 ②1月17日(木)、大崎生涯学習センター ③1月24日(木)、石巻市河北総合セン

### 金融・経済講演会

●テーマ/震災後の日本経済

- 講師/東京大学大学院経済学研究科教授伊藤元重氏
- 定員/250人(先着順・参加無料)
- 日時/1月19日(土)午後1時30分～3時
- 場所/仙台国際センター1楼
- 申し込み/1月18日(金)までに電話で下記へ ☎022(211)2523

### 「北方領土の日」宮城県大和集会

2月7日は「北方領土の日」です。わが国固有の領土である北方四島(歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島)返還の実現は、長年にわたる国民の願いです。領土問題に対する理解と関心を深めるため、県民集会を開催します。ぜひご参加ください(申し込み不要)。

- 日時/2月7日(木)午後1時30分～3時30分
- 場所/大和町ふれあい文化創造センター(まほろばホール)
- ◎北方領土返還要求宮城県民会議(県広報課内) ☎022(211)2285

### 宮城県任期付職員採用試験

●職種および採用予定人員/一般事務 50人程度

- 給与・待遇等/県の規定による
- 第一次試験日/2月10日(日)
- 受験申込書/県庁1階総合案内などで配布
- 申込期間/1月7日(月)～25日(金)(消印有効)
- 受領手数料/1万9000円
- 申し込み/1月15日(火)～2月4日(月)(消印有効)
- 申し込みに必要事項を記入し、持参または郵送により下記へ(平日のみ)

### 東日本大震災災害義援金

県や日本赤十字社などを窓口として、全国の皆さまから寄せられた災害義援金を、段階的に、各市町村を通じて、主に半壊以上の住家被害を受けた被災者の方々に支給しています。

災害義援金の受け取りには申請が必要です。まだ一度も支給申請をされていない方は、お早めに手続きをしてください。

- ◎申請窓口は、震災当時にお住まいの各市町村担当課となります。
- ◎各市町村担当課 ☎022(211)2516
- ◎県社会福祉課 ☎022(211)2516

### 就学援助制度

経済的理由により就学が困難な小・中学生の保護者の方は、学校教育法の規定に基づき就学援助(学用品費・通学費・給食費など)を受けられます。

なお、東日本大震災により被災し、就学困難となった児童生徒の保護者を対象とした就学支援制度が実施されています。

- ◎申請方法は詳しくは、お住まいの市町村教育委員会にお問い合わせください。
- ◎各市町村教育委員会 ☎022(211)3643
- ◎県義務教育課 ☎022(211)3643

### 資源循環コーディネーター(宮城県職員非常勤特別職)募集

●業務内容/県内企業などの廃棄物3R推進に向けての助言、情報収集など

- 採用予定人員/若干名
- 勤務先/県庁(企業訪問あり)
- 勤務日/週4日(平日)午前8時30分～午後4時45分
- 給与・待遇等/県の規定による
- 選考方法/書類および面接
- 募集期間/1月31日(木)(必着)
- 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
- ◎県資源循環推進課 ☎022(211)2649 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sign/

### 医療従事者の届け出

医師、歯科医師、薬剤師および業務に従事している保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科技工士、歯科技工士の方は、2年ごとに12月31日現在の状況を厚生労働大臣または都道府県知事に届け出する必要があります。該当する方は、忘れずに保健所に届け出をしてください。

- ◎提出期限/1月15日(火)
- ◎届け出用紙/保健所から就業先に送付(下記ホームページからダウンロード可能)
- ◎県医療従事者課 ☎022(211)2621 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryuu/

### 獣医師の届け出

県内の獣医師資格を有する方は、獣医師法の規定に基づき、2年に1度、所定事項について都道府県知事を経由して農林水産大臣に届け出る義務があります。該当する方は忘れずに届け出をしてください。

- ◎提出期限/1月31日(木)
- ◎提出先/最寄りの県畜産保健衛生所 ※届出用紙は農林水産省のホームページで入手できます。
- ◎県畜産保健衛生所 ☎022(211)2854
- ◎県畜産課 ☎022(211)2854

### 県運転免許センターなどの待合ホール広告主募集

宮城県・石巻・古川・仙南の各運転免許センターの待合ホールに広告を掲出する広告主を募集します。

- ◎申込期間/1月7日(月)～3月8日(金)
- ◎広告掲出期間/4月1日(月)から1年間 ※詳しくは、下記へご連絡ください。下記ホームページをご覧ください。
- ◎県警本部警務課 ☎022(221)7171(代表) http://www.police.pref.miyagi.jp/

### 産学連携フェア 2013winterみやぎ

●内容/①学術研究機関などの研究成果、復興への取り組みを産業界に紹介し交流するポ

### みやぎ男女共同参画相談室「男性相談」のご案内

夫婦、家族間の問題や男女共同参画に関するさまざまな悩み事について、男性が気軽に相談できるよう毎週「回男性相談員による電話相談を実施しています(相談無料)」

- ◎男性相談/毎週水曜(祝日・休日を除く)午後0時30分～4時30分
- ◎22(211)2557
- ◎一般相談/平日午前8時30分～午後4時45分
- ◎22(211)2570
- ◎法律相談/毎月第4木曜午後1時～4時30分 http://www.joho-miyagi.or.jp/topics/7104
- ◎県新産業課 ☎022(211)2722

### 県の名をかたる太陽光発電システムの点検業者にご注意ください!

太陽光発電システムの無料点検の勧誘で「宮城県から委託を受けた業者です」とかたる事例が報告されています。

勧誘を受け入れてしまうと、点検結果を口入手に、太陽光発電システムの修理費用などを多額に請求される恐れがあります。

県では、個人宅の点検を行った際、特定の業者に依頼し、無料点検を行ったことはありませんので、無用なトラブルに巻き込まれないようご注意ください。

不審に思ったら、下記へお問い合わせください。

- ◎県環境政策課 ☎022(211)2661

### 事業者向け二重債務などの相談窓口

震災により大きな被害を受けた事業者を対象に、支援策の紹介や事業計画の策定、二重債務問題への対応などの支援を行っています。中小企業者のほか、小規模事業者、農林水産・医療福祉事業者など幅広く相談を受け付けています。

詳しくは、下記お問い合わせください。

- ◎宮城県産業復興相談センター ☎022(722)3858
- ◎東日本大震災事業者再生支援機構 ☎022(393)8550

### 女性の健康に関する相談

女性の健康増進に関する相談、思春期や更年期に伴う身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどで悩んでいる女性の相談にのります(完全予約制・相談無料)。

- ◎相談日/開催日/①1月19日(土)、塩竈市 ②2月2日(土)、大河原町
- ◎場所は予約時に伝えます。
- ◎予約先/090-5840-1993(平日午前9時～午後5時)
- ◎予約は、上記提携のみで行います。
- ◎県健康推進課 ☎022(211)2623

### も忘れ「みやぎ電話相談」

あなとは今、認知症について一人で悩んでいませんか?

認知症は、さまざまな病気により、理解・判断・記憶などの脳の働きが持続的に低下している状態です。「最近、探し物がなくなった」「怒りっぽくなった」などの心配事について、介護経験者がお話を聞きます。プライバシーは守られます(相談無料)。

- ◎相談日時/平日午前9時～午後4時
- ◎認知症の人と家族の会宮城県支部 ☎022(263)5091